



2008.2.8

山口大学病院 薬剤部 DIセンター
(22-2668)

「効能・効果」追加のお知らせ

シングレア[®]錠 10mg

(一般名: モンテルカストナトリウム) **ロイコトリン受容体拮抗薬**

【効能・効果】アレルギー性鼻炎

【用法・用量】1日1回5~10mgを就寝前 経口投与

「禁忌」追加のお知らせ

ムコダイン[®]錠 250mg、細粒、シロップ 5% (一般名: カルボシステイン) < 気道粘液調整・粘膜正常化剤 >

【禁忌】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

「禁忌」追加の理由について

発売以降、国内においてアフリキシー反応 2 例、アフリキシーショック 6 例、アフリキシー様反応 2 例、ショック 3 例の合計 13 例が集積された。

グルコンサン K[®]細粒(一般名: グルコン酸カルウム) < カリウム補給剤 >

【禁忌】E[®] レル[®] を投与中の患者 [併用によりカリウム貯留作用が増強するおそれあり。血清カリウム値が上昇]

Drug Safety Update No.166 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 : 最重要 : 重要 無印 : その他

成分名 (薬品名)	主な改訂内容
塩酸アマタジン (シメトリン錠・細粒)	<p>重要な基本的注意: 「A 型インフルエンザウイルス感染症」に用いる場合 因果関係不明であるが、服用後に異常行動等の精神神経症状を発現した例の報告あり。 小児・未成年者については、異常行動による転落等の万が一の事故を防止するための予防的な対応として、治療が開始された後は、異常行動の発現のおそれがあること、自宅において療養を行う場合、少なくとも2日間、保護者等は小児・未成年者が独りにならないよう配慮することについて患者・家族に対し説明を行うこと。 なお、インフルエンザ脳症等によっても、同様の症状が現れるとの報告があるので、上記と同様の説明を行うこと。</p>
塩酸ピロピカイン (伝達・硬膜外用) (マーカイン注(伝達・硬膜外用)) 塩酸ピロピカイン (加ホカイン注)	<p><共通(硬膜外・伝達・浸潤(塩酸ピロピカイン、塩酸ピロピカイン)・表面(塩酸ピロピカイン)麻酔)> 重要な基本的注意: 血管収縮剤(アドレナリン等)を添加して投与する場合、血管収縮剤の添付文書に記載されている禁忌、慎重投与、重大な副作用等の使用上の注意を必ず確認。</p>

<p>塩酸リドカイン(硬膜外・伝達・浸潤・表面麻酔用注射・液剤) (キロカイン液・リドカイン注)</p>	
<p>塩酸ピロカイン (加ホカイン注) リドカイン(噴霧剤) (キロカインホソップスプレー) 塩酸リドカイン (ゼリー・ピンスカス・ 硬膜外・伝達・浸潤・表面麻酔用・抗不整脈用注射剤) (キロカインゼリー・ピンスカス・液・注、 リドカイン注、リハス静注用) 塩酸ピロカイン (アハイン注 2・7.5mg/mL) 塩酸リドカイン・ピロカイン(硬膜外・ 伝達・浸潤・表面麻酔用) (キロカイン・ピロカイン)</p>	<p>その他の注意：ポルフィリン症の患者に投与した場合、急性腹症、四肢麻痺、意識障害等の急性症状を誘発するおそれあり。</p>
<p>塩酸リドカイン (抗不整脈用注射剤) (リハス静注用、キロカイン注)</p>	<p>その他の副作用：過敏症：蕁麻疹等の皮膚症状、浮腫等</p>
<p>塩酸リドカイン・ピロカイン(硬膜外・ 伝達・浸潤・表面麻酔用) (キロカイン・ピロカイン)</p>	<p><共通 (硬膜外・伝達・浸潤・表面麻酔)> 禁忌：狭隅角や前房が浅いなど眼圧上昇の素因のある患者(眼科領域等の麻酔に用いる場合)[アドレナリンにより、閉塞隅角緑内障の発作を誘発することあり。] 下記の薬剤投与中 ハロタン等ハロゲン含有吸入麻酔薬 ブプロピオン系・フェリチン系の抗精神病薬、遮断薬 イソプロレノール等のカコルミン製剤、アドレナリン作動薬 原則禁忌：心室頻拍等の重症不整脈 [アドレナリンの刺激作用により不整脈を悪化されるおそれあり。] 交感神経系作動薬に対し過敏な反応を示す患者 [アドレナリン受容体が高い感受性を示すおそれあり。] 精神神経症 [一般に交感神経作動薬の中樞神経系の副作用として情緒不安、不眠、錯乱、易刺激性、精神病的状態等があるので悪化するおそれあり。] コカイン中毒 [コカインは、交換神経末端でのカコルミンの再取り込みをするので、アドレナリンの作用が増強されるおそれあり。] 慎重投与：肺気腫[アドレナリンにより、肺循環障害を増悪され、右心系への負荷が過重となり、右心不全に陥るおそれあり。] 心疾患[アドレナリンの刺激作用により、心疾患を悪化させるおそれあり。] 重要な基本的注意：アドレナリンは、受容体それぞれに作用し、その作用は投与量、投与方法等に影響を受けやすいので注意。 重大な副作用：肺水腫(初期症状：血圧異常上昇)…十分な観察、異常が認められた場合、投与中止、適切な処置 呼吸困難…十分な観察、異常が認められた場合、投与中止、適切な処置 心停止(初期症状：頻脈、不整脈、心悸亢進、胸内苦悶):初期症状が認められた場合、投与中止、適切な処置 <伝達・浸潤麻酔><表面麻酔 重要な基本的注意：眼科領域等の麻酔に用いる場合、隅角の所見が未確定のまま投与しないこと。 併用禁忌：ハロゲン含有吸入麻酔薬(ハロタン等)： 臨床症状・措置方法：頻脈、不整脈、心停止 機序・危険因子：心筋アドレナリン受容体の感受性亢進 抗精神病薬(ブプロピオン系、フェリチン系、ミダゾラム系、ゾレピドン、リスパリドン等、 遮断薬(プロプラノロール等) 臨床症状・措置方法：過度の血圧低下 機序・危険因子：受容体遮断作用により、アドレナリンの受容体刺激作用が優位、血圧低下 カコルミン製剤、アドレナリン作動薬(イソプロレノール、プロピノール等)</p>

	<p>臨床症状・措置方法：不整脈、心停止 機序・危険因子：刺激作用、交感神経興奮作用増強 併用注意：セロニン・ルアル・レリツ再取り込み阻害剤 SNRI（ミナゾリン等）、その他の抗うつ薬（マブ・ロリツ等）...臨床症状・措置方法：血圧上昇 ジギ・リス製剤...臨床症状・措置方法：異所性不整脈 機序・危険因子：ともに異所刺激能を有し、不整脈発現の可能性が高くなる。 キジツ...臨床症状・措置方法：心室細動 機序・危険因子：相互に心筋に対する作用増強 甲状腺製剤 和キツ等 ...臨床症状・措置方法：冠不全発作 機序・危険因子：甲状腺ホルモンは心筋 受容体を増加させるため、テコルアミン感受性亢進 ブ・ロモクリブ・チン...臨床症状・措置方法：血圧上昇、頭痛、痙攣等 機序・危険因子：機序不明、アドレナリンの血管収縮作用、血圧上昇作用に影響 その他の副作用：循環器：頻脈、期外収縮、血圧変動等 その他：結膜充血、眼痛、熱感、発汗、胸内苦悶、顔面潮紅・蒼白等 中枢神経：頭痛 過量投与：アドレナリン過量投与により、血圧上昇、頻脈、期外収縮、脳出血、腎血管の異常収縮等の発現。血中乳酸濃度上昇、重篤な代謝性アシドーシスの発現のおそれあり。</p>
塩酸トリスラミド（トリスラミド点眼）	その他の副作用：浮動性めまい
塩酸ブナゾリン（テ・タントールR錠・点眼）	その他の注意：遮断薬を服用中又は過去に服用経験のある患者において、術中虹彩緊張低下症候群が現れるとの報告あり。
（テ・タントール点眼）	副作用：眼：術中虹彩緊張低下症候群（IFIS）
ウレピジル（イブランチル） 塩酸テラゾリン（バソメット錠） 塩酸ブナゾリン（経口剤） （テ・タントールR錠） シロドシン（エリファカブセル） 塩酸タムロシン（バルナルD錠） ナフピジル（フリバース錠）	慎重投与：叔ホシ・エスチラセ 5 阻害作用を有する薬剤を服用している患者 併用注意：叔ホシ・エスチラセ 5 阻害作用を有する薬剤（塩酸バルゲナフィル水和物等） 臨床症状・措置方法：症候性低血圧（塩酸テラゾリンは低用量から投与開始） 機序・危険因子：降圧作用増強
カハレリチド（ハンゾ注射用）	配合変化：混合により外観変化が生じるもの...ホリツR注、ハレリチドナトリウム注 N「味の素」
シンバスタチン（シバース錠）	重大な副作用：肝不全にいたることあり、定期的に肝機能検査等の観察を十分行い、異常が認められた場合、投与中止、適切な処置
L-カルボシステイン（ムコダイン錠・細粒・Sy）	禁忌：本剤成分に対し過敏症の既往歴 重大な副作用：ショック、アフィキシン様症状：呼吸困難、浮腫、蕁麻疹等があらわれることあり。十分な観察、異常が認められた場合、投与中止、適切な処置
酢酸コセルリン（ゾラテックス3.6mgテープ）	重大な副作用 <前立腺癌の場合> 糖尿病の発症又は増悪：異常が認められた場合、適切な処置
グルコン酸Ca（注射剤）（カチコール注）	適用上の注意：調製時：セトリアキツNaと配合した場合、沈殿を生じることがあるので、配合しないこと。
L-アスパラギンK（アスパラK錠・注） グルコン酸K（グルコンサンK細粒）	禁忌：イブレルノの投与中患者 併用禁忌：イブレルノ...臨床症状・措置方法：血清K値上昇 機序・危険因子：K貯留作用増強
ワルファリンカルウム（ワファリン錠）	併用注意：解熱鎮痛剤（塩酸トラマトール、セロキシブ）[本剤の作用増強] 血液凝固阻害剤（アルカトロバニン、フォンダパリヌクスNa）[本剤の作用増強]
イデキストリン・塩化Na・乳酸Na・塩化Ca・塩化Mg（エクストラニール）	その他の副作用：発熱
カシタピン（ゼーローダ錠）	警告：本剤を含むがん化学療法は、緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、適切と判断される症例についてのみ実施。適応患者の選択に当たっては、添付文書を参照して十分注意。また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分説明、同意を得てから投与。 効能・効果に関連する使用上の注意： 手術不能又は再発乳癌に対して (1)術後補助化学療法における有効性及び安全性は確立していない。

結腸癌における術後補助化学療法に対して
 Dukes C 以外の結腸癌における術後補助化学療法での、有効性及び安全性は
 確立していない。国内での術後補助科学療法に関する検討は行われていない。
 用法・用量に関連する使用上の注意
 B 法について
 (1) B 法において副作用発現の場合、以下の規定を参考にして休薬・減量
 休薬・減量の規定

NCI による毒性の Grade 判定 ^{注2)}	治療期間中の処置	治療開始時の投与量
Grade1	休薬・減量不要	減量不要
Grade2 初回発現	Grade0-1 に軽快するまで休薬	減量不要
2 回目発現		減量段階 1
3 回目発現		減量段階 2
4 回目発現	投与中止・再投与不可	-
Grade3 初回発現	Grade0-1 に軽快するまで休薬	減量段階 1
2 回目発現		減量段階 2
3 回目発現		-
Grade4 初回発現	投与中止・再投与不可 あるいは治療継続が患者にとって 望ましいと判定された場合は、 Grade0-1 に軽快するまで投与中断	減量段階 2

上記の休薬・減量の規定に応じて減量を行う際、次の用量を参考にすること。
 減量時の投与量

体表面積	1 回投与量	
	減量段階 1	減量段階 2
1.13 m ² 未満	900m g	600m g
1.13 以上 1.21 m ² 未満	1200m g	
1.21 以上 1.45 m ² 未満		1500m g
1.45 以上 1.69 m ² 未満	1800m g	1200m g
1.69 以上 1.77 m ² 未満		
1.77 m ² 以上		

(2) 一旦減量後は増量は行わないこと。

(3) 「結腸癌における術後補助化学療法」に関しては、投与期間が 8 コースを超えた
 場合の有効性及び安全性は確立していない

注 2) 国内臨床試験においては NCI-CTC(Ver.2.0) により Grade を判定した。手足
 症候群は以下の判定基準に従った。

手足症候群の判定基準

Grade	臨床領域	機能領域
1	しびれ、皮膚知覚過敏、ヒリヒリ・チカチカ感、 無痛性腫脹、無痛性紅斑	日常生活に制限を受けることはない 症状
2	腫脹を伴う有痛性皮膚紅斑	日常生活に制限を受ける症状
3	湿性落屑、潰瘍、水疱、強い痛み	日常生活を遂行できない症状

該当する症状の Grade が両基準(臨床領域、機能領域)で一致しない場合はより適切と
 判断できる Grade を採用する

その他の副作用：精神神経系：失調、構語障害、不眠症、うつ病、錯感覚、味覚異常、浮動性
 めまい

消化器：鼓腸、口内乾燥、胃不快感、悪心、口唇炎

血液：赤血球数減少、白血球数減少、リンパ球数減少、ヘマトクリット減少、血小板
 数減少、単球数増加、プロトロン時間延長、好中球数減少

皮膚：紅斑性皮疹、光線過敏、剥脱性皮膚炎、皮膚落屑、そう痒症、色素
 沈着障害、発疹、脱毛症

肝臓・腎臓：肝機能異常、血中クレアチニン増加、血中ビリルビン増加、AST 増
 加、LDH 増加、ALT 増加、AI-P 増加、尿沈渣陽性、蛋白尿、BUN
 増加、尿中ブドウ糖陽性

その他：胸痛、筋痛、血中ブドウ糖増加、鼻咽頭炎、体重増加、背部痛、血
 中アルブミン減少、血圧上昇

パクリタセル

(タキソール注)

用法・用量に関連する使用上の注意：

投与時：A法では500mL5%ブドウ糖注射液又は生理食塩液に混和し、3時間かけて点滴静注。
 B法では250mLの5%ブドウ糖注射液又は生理食塩液に混和し、1時間かけて点滴静注。
 点滴用セット等で溶解液が接触する部分に、可塑剤としてDEHPを含有しているものの使用を避けること。

前投薬：重篤な過敏症状の発現を防止するため、投与前に必ず前投薬を行うこと。

1)A法

本剤投与約30分前までに投与を終了するように1回リ酸デキサメタゾンナトリウム注射液(デキサメタゾンとして20mg)、塩酸エチゾロン注射液(エチゾロンとして50mg)又は注射用フェチゾン(フェチゾンとして20mg)を静脈内投与、塩酸ジフェルドラミン錠(塩酸ジフェルドラミンとして50mg)を経口投与すること。

2)B法

本剤投与約30分前までに投与を終了するように1回リ酸デキサメタゾンナトリウム注射液(デキサメタゾンとして8mg)、塩酸エチゾロン注射液(エチゾロンとして50mg)又は注射用フェチゾン(フェチゾンとして20mg)を静脈内投与、塩酸ジフェルドラミン錠(塩酸ジフェルドラミンとして50mg)を経口投与すること。

デキサメタゾンは初回投与時8mgとし、次回投与時までには過敏症状の発現が見られなかった場合又は臨床上特に問題のない過敏症状の場合は、2週目の投与より半量(4mg)に減量し投与しても良い。以降の投与週においても同様の場合、半量ずつ最低1mgまで減量し投与しても良い。

投与法毎に下記に留意し、必要の応じ休薬、減量を実施。

2)B法：各ケルを開始する際(初回ケルを含む)、投与前の臨床検査で白血球数が3000/mm³未満又は好中球数が1500/mm³未満であれば、骨髓機能が回復するまでは投与延期。同一ケル内での投与にあたっては、投与前の臨床検査で白血球数が2000/mm³未満又は好中球数が1000/mm³未満であれば、骨髓機能が回復するまでは投与延期。投与後、白血球数が1000/mm³未満となった場合、次回投与量を減量。

<減量目安>

投与法	減量段階	投与量
B法	通常投与量	100 mg/m ²
	1段階減量	80 mg/m ²
	2段階減量	60 mg/m ²

重要な基本的注意：B法では、白血球及び好中球減少の最低値までの期間(中央値)はともに投与開始22日後に現れ、最低値発現日から白血球、好中球はそれぞれ14日間(中央値)、13日間(中央値)で回復。
 低血圧、高血圧、徐脈等が起こることあり。

その他の副作用：消化器：口唇炎
 泌尿器：排尿困難、血尿、尿失禁、尿閉、出血性膀胱炎
 皮膚：皮膚炎、皮膚乾燥
 感覚器：眼疾患、結膜炎、結膜出血、眼乾燥、角膜炎、霧視、眼精疲労、流涙増加、飛蚊症
 呼吸器：咳増加、喀痰増加、咽頭不快感

ケン酸モキシフェン (ルバデックス錠)

重大な副作用：視神経症、視神経炎
 その他の副作用：下肢痙攣

トリアム水合物 (フィンバックス点滴用)

重大な副作用：肝機能障害、黄疸：定期的に検査を行うなど十分な観察、異常が認められた場合、投与中止、適切な処置
 急性腎不全：重篤な腎障害があらわれることがあるので、定期的に検査を行うなど十分な観察、異常が認められた場合、投与中止、適切な処置

ジプロキサゾン (ジプロキサ注)

用法・用量に関連する使用上の注意：
 点滴静注局所の血管痛や静脈炎の危険を軽減するため、生理食塩液、ブドウ糖注射液又は補液100mLで希釈し、緩徐に注入。既に補液等が投与されている場合、その残液量が100mL程度あれば、側管に連結して投与可。薬剤によっては配合変化を生じることがあるので注意。

併用注意：塩酸ロニドール
 臨床症状・措置方法：ロニドールのCmaxが60%、AUCが84%それぞれ上昇との報告あり。ロニドール投与中に投与開始又は投与中止する

	<p>場合、必要に応じて吐^oニールの用量を調節。</p> <p>機序・危険因子：吐^oニールの肝での代謝阻害。</p> <p>適用上の注意：調整時：配合変化試験において、全ての注射剤が検討されているわけではないが、配合した直後から24時間後までに沈殿等が観察された薬剤があるので、配合時には配合変化データを参照。</p>
<p>リン酸セルタミビル (タミフルカ^oセル・ト^oライシロップ)</p>	<p>重大な副作用：劇症肝炎等の重篤な肝炎</p> <p>その他の副作用：不正子宮出血</p>
<p>塩酸テルビ^oサフィン (ラミシール錠)</p>	<p>重要な基本的注意：眠気、めまい・ふらつき等があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。</p> <p>その他の副作用：精神神経系：錯感覚、感覚鈍麻</p> <p>その他：乾癬</p>

1. 新規常備医薬品 (合計 27 品目)

平成 20 年 2 月 13 日 (水) よりオーダ開始

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効
アムロキサ	錠	400mg	517	塩野義	Moxifloxacin Hydrochloride ニューキノロン系経口抗菌剤 (呼吸器・皮膚科領域感染症治療剤) 呼吸器感染症主要原因菌に対して強い抗菌力(レス・ナリ・キノロン) 耳鼻咽喉科領域で問題の PRSP、PISP に対しても高い臨床効果が期待できる 高い血中濃度(Cmax: 4.13 µg/mL、長い半減期(T _{1/2} : 13.9h)、呼吸器組織移行性良好 1日1回投与 耐性菌発現しにくい 【発売: 2005.12.9】
アリクストラ	皮下注	1.5mg 2.5mg	1,581 2,200	グラクソ スミ クライン	Fondaparinux Sodium 抗血栓症薬 合成 Xa 阻害剤 アンチロビン の抗ロビン活性増強なし 出血のリスク少 半減期約 14 ~ 17 時間 1日1回で有効 【発売: 2007.6.8】
膀胱用仏シト	注	81mg/V	20,870.9	日本 化薬	BCG-Connaught strain 抗悪性腫瘍剤、その他の生物学的製剤 凍結乾燥生菌製剤 仏ノラタ-と株組成が異なる 仏ノ ラタ-効果不十分例に対する有効性が期待される 【発売: 2003.10.22】
イラックス	静注	25mg/ 2.5 mL 50mg/ 5mL	595 1,083	日本 メダナ	Rocuronium Bromide 非脱分極性麻酔用骨格筋弛緩剤 従来の薬剤(マスキラックス)より早い効果発現(40 S 短縮) 挿管完了時間を短縮可能 安全な超急速導入可能 効果持続時間は用量依存的、優れた調節性 水溶性製剤、用時溶解不要、清潔 ほとんど活性ない代謝物 持続注入可能 従来の薬剤と比べ筋弛緩の遷延リスク低い 有用性加算あり 【発売: 2007.10.2】
オキノン 0.5%	散	2.5mg/包	66.30 (1包)	塩野義	Oxycodone Hydrochloride Hydrate あへんアルカイト系麻薬 オキノン塩酸塩速放製剤 オキノン錠投与中患者のレスキューとして、単一薬剤での管理が可能 活性代謝産物が微量 オキノンより即効性あり 【発売: 2007.2.5】

コムタソ	錠	100mg	218.2	ハルティスファーマ	Entacapone 末梢性 COMT 阻害薬 従来の治療薬と全く異なる作用機序で COMT を阻害し、レドパの血中濃度を維持する Wearing-off 現象を改善 有用性加算あり 【発売：2007.4.19】
ジエノキサク	錠	200mg	296.5	アステラス	Garenoxacin キノロン系経口抗菌剤 呼吸器・耳鼻科領域感染症に適した抗菌スペクトルと抗菌活性 多剤耐性肺炎球菌に優れた抗菌活性 CYP 代謝活性を阻害しない 1日1回投与 AUC 大、組織移行性良好 有用性加算あり 【発売：2007.10.5】
ゼチーブ	錠	10mg	250.9	シリング・プラウ	Ezetimibe 高脂血症治療剤 世界初の小腸コレステロール吸収阻害剤 単独やスタチン併用で優れたコレステロール低下作用（単独でキノロン10mg と同等） 腸管循環し1日1回投与 CYP が関与する代謝を受けない（相互作用少） 【発売：2007.6.11】
セララ	錠	25mg 50mg	49.0 93.4	ファイザー	Eplerenone 選択的アルドステロン拮抗薬（降圧剤） 1日1回投与 長期投与において安定した血圧コントロール 日・米・欧の高血圧治療ガイドラインで、心疾患を伴う高血圧に推奨 【発売：2007.11.13】
セレコックス	錠	100mg	83.7	アステラス	Celecoxib 抗炎症・抗リウマチ薬 世界初のコキシブ系 NSAID COX-2 選択的阻害剤 既存の NSAIDs と同等の消炎・鎮痛作用、消化管、血小板への影響少ない 【発売：2007.6.12】
テモゾロール	Cap	20mg 100mg	3,345 16,746	シリング・プラウ	Temozolomide 経口アルキル化剤 生体内で加水分解され、脳内で抗腫瘍効果 初発の悪性神経膠腫において放射線併用療法は、放射線単独療法に比べ、初めて有意な生存期間の延長を示した 欧米、本邦でも標準的な治療薬 維持療法としても有効 【発売：2006.9.15】

トピナ	錠	50mg 100mg	104.8 171.6	協和 発酵	<p>Topiramate 抗てんかん薬</p> <p>難治部分発作に対して既存の抗てんかん薬との併用療法により良好な効果</p> <p>フルクトシラース骨格にキルファート構造を有する新規抗てんかん薬</p> <p>AMPA / カイニン酸型グルタミン酸受容体機能抑制作用など幅広い作用機序により抗痙攣作用</p> <p>開発時臨床試験データより同程度のレスポンス率となる用量の1日薬価の比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>1日量</th> <th>1日薬価</th> <th>レスポンス率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トピナ</td> <td>100mg</td> <td>209.6</td> <td>22.7%</td> </tr> <tr> <td>ガバペン</td> <td>1800mg</td> <td>357.3</td> <td>20.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【発売：2007.9.26】</p>	薬剤名	1日量	1日薬価	レスポンス率	トピナ	100mg	209.6	22.7%	ガバペン	1800mg	357.3	20.0%
薬剤名	1日量	1日薬価	レスポンス率														
トピナ	100mg	209.6	22.7%														
ガバペン	1800mg	357.3	20.0%														
トラクリア	錠	62.5mg	4,435.9	アケリアン	<p>Bosentan Hydrate 肺動脈性肺高血圧症治療剤</p> <p>世界初の経口エンケリン受容体拮抗薬</p> <p>従来の経口薬に比べ、強い肺血圧の降圧効果</p> <p>希少疾病用医薬品</p> <p>【発売：2005.6.10】</p>												
ネスプリンジ	静注	15 µg 30 µg 60 µg	4,466 8,033 14,447	キリン ファーマ	<p>Darbepoetin 持続型赤血球造血刺激因子製剤</p> <p>血中半減期延長、少ない投与頻度で貧血改善効果</p> <p>薬剤投与回数減少により、薬剤投与時のエラーの軽減</p> <p>プレフィルト・シリンジ製剤のため、清潔、調製簡便、調製時間短縮、操作時の針刺し事故防止可能</p> <p>【発売：2007.7.9】</p>												
ヒューマトロペン MG	ペン型注入器	注入器	-	日本イライリ	<p>ヒューマトロペンのペン型注入器</p> <p>【発売：2007.10】</p>												
フォリスチム	注	50IU/ 0.5mL/V 75IU/ 0.5mL/V	3,070 3,892	日本 ルガノ	<p>Follitropin beta 遺伝子組換えヒト卵胞刺激ホルモン製剤</p> <p>recombinant 技術で製造されたヒトFSH製剤</p> <p>特異的なFSH作用</p> <p>純度99%以上、ロット間のばらつき少ない</p> <p>安定供給可能</p> <p>【発売：50IU製剤：2007.4.11、 75IU製剤：2005.8.11】</p>												
プレミネット	錠	ロサルタンカリウム50mg/ヒドロクロチアジド12.5mg	190	万有	<p>Losartan potassium/Hydrochlorothiazide 血圧降下剤</p> <p>日本初のARB/少量利尿薬合剤</p> <p>ARB効果不十分例にも効果を示す</p> <p>1錠で2剤含有により、利便性・コンプライアンス・経済性の向上</p> <p>【発売：2006.12.8】</p>												

ボグリボース OD「QQ」	口腔内 フィルム 剤	0.3mg	36.5	持田	Voglibose 糖尿病食後過血糖改善剤 口腔内崩壊フィルム剤、水なしで服用可能 携帯が容易 消化管吸収なし、先発品と生物学的同等性を示す ヘイン錠の後発品で安価 薬価：ヘイン錠 0.3mg 69.3 【発売：2006.8】
ポリドカノール 1%	注	20mg/ 2mL/A	718	ゼリア 新薬	Polidocanol 下肢静脈瘤硬化剤 国内で唯一下肢静脈瘤硬化療法の適応あり 血管内皮細胞障害作用 高い静脈瘤消失率(プラセボ比較) 局所麻酔作用 注射時の疼痛少ない 【発売：2006.12.14】

2. 剤形・規格追加医薬品（合計12品目）

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効
イトラゾール 1%	注	200mg/ 20mL/A	14,678	ヤンセン	Itraconazole 抗真菌剤 真菌感染が疑われる発熱性好中球減少症の適応 希釈液(生食)、専用フィルターが同梱でコストが安価 広域の抗菌スペクトル、強力な抗菌力、組織移行性良好 【発売：2006.12.6】
イソxil 350	注	100mL/V (ヨト含有量 350mg/mL)	11,399	礼茂	Ioxilan 非イオン性 X 線造影剤 従来品より安価、経済的 低浸透圧・低粘度 < 1V の薬価 > イソxil 350(従来品):14,378 円 【発売：1997.6.23】
利多カインシリンジ 1%	注	100mg /10mL/シリンジ	252	アストラ ゼネカ	Lidocaine 局所麻酔剤 高圧蒸気滅菌済みプレフィルドシリンジ製剤 清潔、調製簡便、調製時間短縮、操作時の針刺し事故防止可能 キトカイン注の後発品 キト加算あり 【発売：2005.7.8】
シグマート	注	48mg/V	6,400	中外	Nicorandil 狭心症治療剤 体重 60kg の場合、288mg/日 12mg 製剤(24V)の場合:薬価 1,910X24 = 45,840 48mg 製剤(6V)の場合:薬価 6,400X6 = 38,400 経済性、調製時間の短縮 【発売：1997.6.27】

バルトレックス 50%	顆粒	500mg/g	559.1 (1g)	ゲラク スミ スライ	Valaciclovir Hydrochloride 抗ウイルス化学療法剤 アシクロビル(ゾビラックス)のプロドラッグ 従来経口剤(アシクロビル)に比べ、高いバイオアベイラビリティ、少ない投与回数で治療可能(単純疱疹-アシクロビル:1日5回、ヘルペス-アシクロビル:1日3回、水痘-アシクロビル:1日4回、ヘルペス-アシクロビル:1日3回)コンプライアンス向上 口唇・顔面ヘルペス、加齢性水痘発疹症における有効率 95.9% 従来剤に比べ、皮疹新生抑制 生殖器ヘルペスの再発リスクを有意に減少 【発売:2006.7.10】									
フルタイド 100 ディスク	吸入	100 µg/1 プリアスター (60プリアスター/本)	2,373.5 (1本)	ゲラクスミスライ ン	Fluticasone propionate 吸入ステロイド 喘息治療薬 常備薬 50ディスクは1回2吸入(100ディスクでは1回1吸入) コンプライアンス向上、安定した薬剤吸入量が可能 フルタイド 100 µg/日吸入、30日の場合 経済性の向上 <table border="1"> <thead> <tr> <th>フルタイド</th> <th>必要個数</th> <th>薬価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50ディスク</td> <td>2個</td> <td>3556.2</td> </tr> <tr> <td>100ディスク</td> <td>1個</td> <td>2373.5</td> </tr> </tbody> </table> 【発売:2002.1.15】	フルタイド	必要個数	薬価	50ディスク	2個	3556.2	100ディスク	1個	2373.5
フルタイド	必要個数	薬価												
50ディスク	2個	3556.2												
100ディスク	1個	2373.5												
フルダラ	錠	10mg	3,688.2	ハイル	Fludarabine Phosphate 抗悪性腫瘍剤 経口リンゴキチン製剤 外来化学療法の経済性や患者QOLの向上 再発・治療抵抗性の低悪性度リンパ腫に有効 (従来はロイタチン静注製剤のみ) 有用性加算あり 【発売:2007.7.12】									
ポラプレジン	錠	75mg	49.3	ゼリア 新薬	Poraprezinc 胃潰瘍治療剤 口腔内崩壊錠 水分制限の症例にも使用可能 携帯に便利 (剤形変更による切り替え予定) 【発売:2006.7.7】									
メグルミン ガドテラート	注	10mL/シリンジ	6,981	テルモ	Meglumine Gadoterate MRI用造影剤 マクロ環構造でGdイオンの高い安定性 従来品より安価、経済的 <1Vの薬価> メグルミンガドテラート 10mL(従来品):9,070円 【発売:2001.4.20】									
アトルバスタチン	錠	5mg	76.5	アステラス	Atorvastatin 高脂血症治療剤 5mgで他剤と同等の効果を示す 減量に使いやすい(10mg製剤は割線がなく粉砕が必要) 【発売:2000.5.11】									

ロキソニン パップ	貼付	100mg/枚	53.5	第一 三共	Loxoprofen Sodium hydrate 経皮吸収型鎮痛・抗炎症剤 (NSAIDs 貼付剤) 外傷後の腫脹・疼痛において内服と同等の有効性 光過敏症報告無し 1日1回貼付製剤 【発売：2006.5.23】
ワファリン	錠	0.5mg	9.7	エーザイ	Warfarin Potassium 抗血液凝固剤 錠剤で（粉碎化せず）0.5mg、0.25mgの微調整可 【発売：2004.5.10】

ロソニール錠 5mg、ワファリン錠 0.5mg は既にオダ 可能

3. 切り替え医薬品（合計 6 品目）

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効	切り替え薬
エストラーム	貼付	0.72mg/枚	129	キッセイ	Estradiol フェイスト供給停止に伴う切り替え 【発売：2000.2.15】	フェイスト 4.33mg
ネオフィリン	末	1g/g	13.5 (1g)	エーザイ	Aminophylline 気管支拡張剤 テオロン販売中止に伴う切り替え オダ 上は（院）アミノフィリン散 10mg/g 【発売：1950.10.1】	テオロン散 500mg/g
点滴静注用 塩酸バンコマイシン「MEEK」	注	0.5g/V	2,290	明治	Vancomycin Hydrochloride グリコペプト系抗生物質製剤 従来品より溶解度向上（溶解液として注射用水、生食、5%ブドウ糖も使用可能） 塩酸バンコマイシンの後発品 塩酸バンコマイシン注と切り替え 【発売：2002.7.15】	塩酸バンコマイシン 注 0.5g/V (塩野義)
ムコサル	錠	15mg	15.2	ペーリンガー	Ambroxol Hydrochloride 去痰剤 ムコルパ ン錠の後発品 ムコルパ ン錠と同一製造元 ムコルパ ン錠と切り替え 【発売：1992.7.10】	ムコルパ ン錠 15mg
レミナロン	注	100mg 500mg	385 1,662	塩野義	Gabexate Mesilate 蛋白分解酵素阻害剤 イフォワイと同一成分、添加物なし イフォワイの後発品 イフォワイと切り替え 【発売：100mg 製剤：1987.10.5、 500mg 製剤：1990.7.13】	イフォワイ注 100mg 500mg

切り替え医薬品は全て事後報告のため既にオダ 可能

4. 削除医薬品（合計 40 品目 <本表：21 品目> + <別紙 1：19 品目>）

商品名	剤形	規格	削除理由
イダシ	坐剤	50mg	販売中止のため削除
[院]ポリトカール	注	2% 3%	ポリトカール注（市販品）と切り替えのため削除
エフォイ	注	100mg 500mg	レミロン注と切り替えのため削除
ケフェール	カプセル	250mg	アペロックス錠と切り替えのため削除
ゾビラックス	顆粒	400mg/g	バルトレックス顆粒と切り替えのため削除
テオロン	散	500mg/g	販売中止のため削除
[院]ナビン	点鼻	0.05%10mL	販売元変更により、継続的な医薬品情報の提供が見込めなくなったため 販売元変更：中外 サトウ
[院]小児用ナビン		0.025%10mL	
ボリン10Rフレックスペン	注	300IU/3mL/本	のため
塩酸バンコマイシン	注	0.5g/V	点滴静注用塩酸バンコマイシン「MEEK」と切り替えのため削除
ホパン	注	250mg/5mL/A	販売中止のため削除
フェミスト	貼付	4.33mg/枚	供給停止、エストラゲムと切り替えのため
フルタイド 50 ディスカス	吸入	50 μg/ブリストア (60ブリストア/本)	フルタイド ディスカス 100 μg と切り替えのため削除
ブルター	注	40mg/10mL/A	販売中止のため削除
プロマック	顆粒	150mg/g	プロマックD錠と切り替えのため削除
マグネストシリンジ	注	20mL/シリンジ	マグネストシリンジ 10mL と切り替えのため削除
ミルタックス	貼付	6枚/袋	ロキソニンパップ と切り替えのため削除
ムコソルバン	錠	15mg	ムコソルバン錠と切り替えのため削除
ロイコン	錠	10mg	販売元変更により、継続的な医薬品情報の提供が見込めなくなったため 販売元変更：第一三共 大原

<別紙 2> 常備薬削除一覧表

平成 20 年 1 月 29 日

HF 頁	コード	薬品名	剤形	規格	薬効	代替薬 [同成分, 投与経路の違う同成分]
268	アス 05	アスペノン	Cap	10mg	不整脈治療薬	メキシチール Cap 50・100mg
145	アルテ 61	アレディア	注	15mg/V	高カルシウム血症治療剤 (ビスホスホネート系)	ゾメタ注 4mg/V、ビスフォナール注 10mg/A
409	アソハ 43	アンペック	坐	30mg	あへんアルカロイド系麻薬	アソハック坐剤 10mg、MS コンチン錠 10・30mg、ピロガト錠 20・30・60mg
310	インタ 47	インタール	エアゾール A	200mg/本	その他の吸入用剤	インタール吸入液
354	インタ 42	インタール	点眼液	2%5mL	その他の点眼剤	クモロール PF 点眼液 2%5mL
183	インテ 01	インテバン SP	Cap	25mg	その他の酸性抗炎症剤	インフリー S Cap200mg
288	インビ 01	インヒベース	錠	1mg	アンジオテンシン変換酵素阻害剤	タナトリル錠、レニベース錠、エースコール錠、コバシル錠、ロンゲス錠
409	IMI 04	MS コンチン	錠	60mg	あへんアルカロイド系麻薬	MS コンチン錠 10・30mg
194	ケタラ 62	ケタラル筋注用	注	500mg/10mL	全身麻酔薬	ケタラル静注用 200mg/20mL
34	ゼリツ 01	ゼリット	Cap	15mg	抗 HIV 剤	エピビル、レトロビル、コンビビル、ピリアード、ツルバダ
270	タンボ 02	タンボコール	錠	100mg	Ic 群不整脈治療薬	サンリズム Cap 25・50mg
247	ハイス 61	ハイスコ	注	0.5mg/1mL	鎮痙剤	-
280	バソメ 01	バソメット	錠	0.5mg	遮断薬	ミニプレス錠 0.5mg、カルデナリン錠 1mg
432	バリト 05	バリトプ 120	内用液	300mL	硫酸バリウム製剤	バリトプ 100 内用液 200mL
288	プレラ 01	プレラン	錠	1mg	アンジオテンシン変換酵素阻害剤	タナトリル錠、レニベース錠、エースコール錠、コバシル錠、ロンゲス錠
26	フロリ 61	フロリード F	注	200mg/20mL	抗真菌剤	プロジフ注、プイフェンド注
265	ペルサ 64	ペルサンチン	注	10mg/2mL	その他の虚血性心疾患治療剤	ペルサチン錠 25mg、アソキナル散 125mg/g
307	メプチ 01	メプチン	錠	50 μg	刺激気管支拡張剤	メプチンミニ 25 μg
295	ローコ 04	ローコール	錠	20mg	HMG - CoA 還元酵素阻害剤	リピトール錠、リポバス錠、リバロ錠、メバロチン錠

p408 その他の生物学的製剤

BCG・コンノート株 bacillus of calmette and guerin (BCG)・connaught strain

膀胱用イムシスト Immucyst 日本化薬

コード 薬価

注(劇): 81mg/V [イムシ 61] 20870.9

【効】表在性膀胱癌 膀胱上皮内癌

【用】添付溶解液 3mL を加え懸濁液とする。生食 40mL で更に希釈し尿道カテーテルで膀胱内に緩徐に注入し、2 時間保持。通常、週 1 回 8 週間繰り返す。

【警】(1) 経尿道的腫瘍切除術(TUR-Bt)、生検又はカテーテル挿入により外傷を生じた場合、回復状況を観察し、少なくとも 7 日から 14 日間の間隔をあけて投与。緊急時に十分措置できる医療施設及び膀胱癌の治療に十分な経験を持つ医師のもと、投与が適切と判断される患者のみ使用。(2) アナフィラキシーショック、又はアナフィラキシー様症状に起因したと考えられる死亡例の報告あり。症状があらわれた場合、投与中止、直ちに抗ヒスタミン剤又はステロイド剤の投与とともに、抗結核剤による治療を行う。(3) 生菌製剤であり、海外において院内感染の報告あり。十分注意し適切に扱う。

【禁】AIDS 白血病 リンパ腫等併発疾患又は抗癌療法(細胞傷害性の抗悪性腫瘍剤、放射線療法)により、免疫抑制状態、先天性又は後天性免疫不全 HIVキャリア、免疫抑制量のステロイド剤又は他の免疫抑制剤投与中 活動性結核症 原因が特定されていない熱性疾患 細菌性尿路感染症 肉眼的血尿 BCG全身性過敏症反応の既往 妊娠又は可能性のある婦人

【重大な副作用】播種性BCG感染 間質性肺炎 全身性過敏症反応 萎縮膀胱 ライター症候群 異所性BCG感染

【備考】膀胱内用乾燥 BCG

p283 アルドステロン阻害薬

エプレレノン eplerenone

セララ Selara ファイザー

コード 薬価

錠: 25mg [セララ 01] 49.0

錠: 50mg [セララ 02] 93.4

【効】高血圧症

【用】1 日 1 回 50mg 1 日最高 100mg

【禁】本剤成分過敏症 高カリウム血症 血清カリウム値が5.0mEq/Lを超えている患者 微量アルブミン尿又は蛋白尿を伴う糖尿病 中等度以上の腎機能障害(クレアチニンクリアランス 50mL/分未満) 重度の肝機能障害 (Child-Pugh 分類クラス C の肝硬変に相当) カリウム製剤 カリウム保持性利尿薬 イトラコナゾール リトナビル ネルフィナビル

【重大な副作用】高カリウム血症

【備考】選択的アルドステロンブロッカー

p22 キノロン系

メシル酸ガレノキサシン水和物 garenoxacin mesilate hydrate(GRNX)

ジェニナック Geninax	アステラス
	コード 薬価
錠:200mg	[シエニ01] 296.5

【用】1回 400mg を 1日 1回

【禁】本剤成分又は他のキノロン系抗菌剤過敏症 妊娠又は妊娠している可能性のある婦人 小児

【重大な副作用】偽膜性大腸炎

【備考】キノロン系合成抗菌剤

p296 高脂血症治療剤 その他

エゼチミブ ezetimibe

ゼチーア Zetia	シエリング・プラウ
	コード 薬価
錠:10mg	[セチア01] 250.9

【効】高コレステロール血症 家族性高コレステロール血症 ホモ接合体性シトステロール血症

【用】1回 10mg を 1日 1回食後(適宜減量)

【禁】本剤成分過敏症 本剤とHMG-CoA還元酵素阻害剤を併用する場合: 重篤な肝機能障害

【重大な副作用】過敏症 横紋筋融解症

【備考】小腸コレステロールトランスポーター阻害剤

p188 酸性抗炎症剤 その他の酸性抗炎症剤

セレコキシブ celecoxib

セレコックス Celecox	アステラス
	コード 薬価
錠(劇):100mg	[セレコ01] 83.7

【効】次の疾患並びに症状の消炎・鎮痛:(1)関節リウマチ (2)変形性関節症

【用】(1)1回 100~200mg を 1日 2回朝・夕食後投与 (2)1回 100mg を 1日

2 回朝・夕食後投与

【警】心筋梗塞、脳卒中等の重篤で致命的な心血管系血栓塞栓症事象のリスク増大の可能性あり。これらのリスクは使用期間とともに増大する可能性がある」と報告されている。

【禁】本剤成分又はスルホンアミドに対し過敏症 アスピリン喘息 消化性潰瘍 重篤な肝障害 重篤な腎障害 重篤な心機能不全 冠動脈バイパス再建術の周術期 妊娠末期

【重大な副作用】ショック アナフィラキシー様症状 消化性潰瘍 消化管出血 消化管穿孔 心筋梗塞 脳卒中 心不全 うっ血性心不全 肝不全 肝炎 肝機能障害 黄疸 再生不良性貧血 汎血球減少症 無顆粒球症 急性腎不全 間質性腎炎 皮膚粘膜眼症候群 (Stevens - Johnson 症候群) 中毒性表皮壊死融解症 (Lyell 症候群) 多形紅斑 剥脱性皮膚炎

【備考】コキシブ系 COX-2 阻害作用

p218 その他の抗パーキンソン剤

エンタカポン entacapone

コムタン Comtan

ノバルティス

コード 薬価

錠:100mg

[コムタ01]

218.2

【効】レボドパ・カルビドパ又はレボドパ・塩酸ベンセラジドとの併用によるパーキンソン病における症状の日内変動 (wearing-off 現象) の改善

【用】単独では使用せず、レボドパ・カルビドパ又はレボドパ・塩酸ベンセラジドと併用 1 回 100 ~ 200mg 最大:1 日 8 回

【禁】本剤成分過敏症 悪性症候群 横紋筋融解症

【重大な副作用】悪性症候群 横紋筋融解症 突発的睡眠 傾眠 幻覚 幻視 幻聴 錯乱 肝機能障害

【備考】末梢性 COMT 阻害薬

p412 あへんアルカロイド系麻薬

オキシコドン塩酸塩水和物 oxycodone hydrochloride hydrate

オキノーム OxiNorm

塩野義

コード 薬価

散〔麻〕〔劇〕:2.5mg/包

[オキノ01]

66.30

【効】中等度 ~ 高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛

【用】1 日 10 ~ 80mg を 4 回に分服 (適宜増減)

【禁】重篤な呼吸抑制 重篤な慢性閉塞性肺疾患 気管支喘息発作中 慢性肺疾患に続発する心不全 痙攣状態 (てんかん重積症, 破傷風, ストリキニーネ中毒) 麻痺性イレウス 急性アルコール中毒 アヘンアルカロイド

過敏症 出血性大腸炎

【原禁】細菌性下痢

【重大な副作用】ショック アナフィラキシー様症状 依存性 呼吸抑制 錯乱 譫妄 無気肺 気管支痙攣 喉頭浮腫 麻痺性イレウス 中毒性巨大結腸 肝機能障害

【備考】オキシコドン塩酸塩速放製剤

p177 血球減少予防・治療剤

ダルベポエチン (遺伝子組換え) darbepoetin alfa(genetical recombination)

ネスブ Nesp

麒麟

コード

薬価

注(劇):15 μ g/シリンジ

[ネスブ 61]

4466

注(劇):30 μ g/シリンジ

[ネスブ 62]

8033

注(劇):60 μ g/シリンジ

[ネスブ 63]

14447

【効】透析施行中の腎性貧血

【用】エリスロポエチン製剤から切り替えて使用 週1回 15~60 μ g 静注 維持量 週1回(腹膜透析では2週に1回)で維持されている場合 その時点での1回投与量の2倍量を開始用量として2週に1回 30~120 μ g(腹膜透析では4週に1回 60~180 μ g)静注へ変更可(適宜増減) 最高投与量 1回 180 μ g

【禁】本剤成分又は他のエリスロポエチン製剤過敏症

【重大な副作用】ショック アナフィラキシー様症状 高血圧性脳症 脳出血 脳梗塞 心筋梗塞 肺梗塞 肝機能障害 黄疸 赤芽球癆

【備考】持続型赤血球造血刺激因子製剤

p42 アルキル化剤

テモゾロミド temozolomide

テモダール Temodal

シェリング・プラウ

コード

薬価

Cap(毒):20mg

[テモタ 01]

3345

Cap(毒):100mg

[テモタ 02]

16746

【効】悪性神経膠腫

【用】初発の場合:放射線照射との併用にて、1回 75mg/m²を1日1回連日 42日間投与し、4週間休薬 その後単独にて1回 150mg/m²を1日1回連日 5日間投与し 23日間休薬する 28日を1クールとし、次クールでは1回 200mg/m²に増量可能 再発の場合:1回 150mg/m²を1日1回連日 5日間投与し、23日間休薬 28日を1クールとし、次クールで1回 200mg/m²に増量可能

【警】 緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本療法が適切と判断される症例についてのみ実施 患者又はその家族に有効性、危険性を十分説明し、同意を得てから投与 放射線照射を併用する場合、重篤な副作用や放射線照射による合併症が発現する可能性があるため、併用治療に十分な知識・経験を持つ医師のもとで実施 投与後にニューモシスチス肺炎が発生することがあるため、適切な措置の実施を考慮

【禁】 本剤、ダカルバジン過敏症の既往 妊娠又はその可能性のある婦人

【重大な副作用】 骨髄機能抑制 ニューモシスチス肺炎、感染症 脳出血 アナフィラキシー様症状

p332 潰瘍治療剤 その他の潰瘍治療剤

ポラプレジンク polaprezinc

プロマック Promac

ゼリア

コード

薬価

D錠:75mg

[70702]

49.3

【効】 胃潰瘍

【用】 1回 75mg を 1日 2回朝食後及び就寝前 (適宜増減)

【重大な副作用】 肝障害 黄疸

【備考】 亜鉛含有 口腔内崩壊錠

p209 抗てんかん剤

トピラマート topiramate

トピナ Topina

協和発酵

コード

薬価

錠:50mg

[トピナ01]

104.8

錠:100mg

[トピナ02]

171.6

【効】 他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の部分発作(二次性全般化発作を含む)に対する抗てんかん薬との併用療法

【用】 1回 50mg を 1日 1回又は 2回で開始 以降、1週間以上の間隔をあけて漸増、維持量として 1日量 200~400mg を 2回に分服 適宜増減 1日最高用量 600mgまで

【禁】 本剤成分過敏症

【重大な副作用】 続発性閉塞隅角緑内障及びそれに伴う急性近視 腎・尿路結石 代謝性アシドーシス 乏汗症及びそれに伴う高熱

【備考】 AMPA/カニン酸型グルタミン酸受容体機能抑制作用

p170 抗凝血剤

ファンダパリヌクスナトリウム fondaparinux sodium

アリクストラ Arixtra

G S K

皮下注: 1.5mg/シリンジ

コード

薬価

[アリク 61]

1581

皮下注: 2.5mg/シリンジ

[アリク 62]

2200

【効】 静脈血栓塞栓症の発現リスクの高い、下肢整形外科手術施行患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制

【用】 2.5mg を 1 日 1 回皮下投与 腎障害: 1.5mg 1 日 1 回

【警】 脊椎・硬膜外麻酔あるいは腰椎穿刺等の併用により、穿刺部位に血腫が生じ、神経圧迫による麻痺があらわれるおそれあり。併用の場合、神経障害の徴候、症状について十分注意し、異常が認められた場合、直ちに適切な処置。

【禁】 本剤成分過敏症 出血している患者(後腹膜出血、頭蓋内出血、脊椎内出血、あるいは他の重要器官における出血等) 急性細菌性心内膜炎 重度の腎障害(CLcr 20 mL/min 未満)

【重大な副作用】 出血

p106 性腺刺激ホルモン剤

フォリトロピン (遺伝子組換え) follitropin beta(genetical recombination)

フォルリスチム Follistim

オルガノン

コード

薬価

注: 50IU/V

[フォリ 63]

3070

注: 75IU/V

[フォリ 64]

3892

【効】 視床下部性 - 下垂体機能障害に伴う無排卵および希発排卵における排卵誘発

【用】 1 日 50 I.U. を 7 日間 皮下又は筋注 卵胞の発育程度を観察しながら用量調整(卵巣の反応性が低い場合、原則として 7 日間ごとに 25 I.U. を増量)、平均径 18mm 以上の卵胞を超音波断層法により確認後、胎盤性性腺刺激ホルモンにより排卵を誘起

【警】 本剤に引き続き、胎盤性性腺刺激ホルモン製剤を投与した場合、血栓塞栓症等を伴う重篤な卵巣過剰刺激症候群が現れることがある

【禁】 卵巣、乳房、子宮、下垂体又は視床下部の腫瘍 妊娠又はその可能性のある婦人 診断の確定していない不正出血 本剤成分過敏症 多のう胞性卵巣症候群を原因としない卵巣のう胞又は卵巣腫大

【重大な副作用】 卵巣過剰刺激症候群 血栓塞栓症 流産 子宮外妊娠 多胎妊娠 アレルギー反応

【備考】 遺伝子組換え型ヒト卵胞刺激ホルモン

p135 糖尿病治療剤 経口血糖降下剤

ボグリボース voglibose

ボグリボース OD「QQ」 Voglibose 持田
コード 薬価
OD フィルム剤:0.3mg [ホク01] 36.5

【効】糖尿病の食後過血糖の改善(ただし、食事療法・運動療法を行っている患者で十分な効果が得られない場合、又は食事療法・運動療法に加えて経口血糖降下剤若しくはインスリン製剤を使用している患者で十分な効果が得られない場合に限る)

【用】1回 0.2mg を 1日 3回食直前 最高 1回 0.3mg

【禁】重症ケトーシス 糖尿病性昏睡又は前昏睡 重症感染症 手術前後 重篤な外傷 本剤成分過敏症

【備考】口腔内崩壊フィルム剤

p166 下肢静脈瘤硬化剤

ポリドカノール polidocanol

ポリドカスクレロール Polidocasklerol ゼリア
コード 薬価
注(劇):20mg/2mL/A [ホト61] 718

【効】一次性下肢静脈瘤(伏在静脈瘤の本幹を除く)の硬化退縮

【用】1 穿刺当たり 0.5 ~ 1mL を静脈瘤内に 1 箇所又は 2 箇所以上投与 1 回の総投与量は 2mg/kg 以下 1 回の処置で終了しない場合 原則として 1 週後投与

【警】動脈内に使用しないこと 投与により、肺塞栓、深部静脈血栓等の重篤な副作用が発現するおそれあり、症状等を注意深く観察、発症が疑われた場合、適切な処置 下肢静脈瘤硬化療法に十分な知識および経験のある医師が使用すること

【禁】深部静脈血栓症を有するあるいは血栓症の既往 動脈性血行障害 歩行困難 多臓器障害 DIC 経口避妊薬 抗凝固剤 抗血小板剤 重篤な心疾患 ショック 前ショック状態 本剤成分過敏症 気管支喘息 妊婦又は妊娠を疑われる患者 投与部位並びにその周辺の炎症又は潰瘍

【重大な副作用】アナフィラキシー様症状 血栓塞栓症 心停止 循環虚脱 肺水腫 錯乱 局所組織障害 壊死 瘤内血栓 色素沈着

【備考】局所麻酔作用

p298 末梢血管拡張・循環改善剤

ボセンタン水和物 bosentan hydrate

トラクリア Tracleer アクテリオン
コード 薬価

錠[劇]: 62.5mg

[トク01]

4435.9

【効】肺動脈性肺高血圧症(WHO 機能分類クラス 及び に限る)

【用】1回 62.5mg を1日2回から開始し、5週目から1回 125mgを1日2回
朝夕食後経口投与 適宜増減 最大1日量 250mgまで

【警】投与により肝機能障害が発現するため、肝機能検査を投与前に行い、
投与中においても、少なくとも1カ月に1回実施 投与開始3ヵ月間は2週
に1回の検査が望ましい 肝機能検査値の異常が認められた場合は程度
及び臨床症状に応じて、減量及び投与中止など適切な処置

【禁】妊娠又はその可能性のある婦人 中等度あるいは重度の肝障害 シク
ロスポリン タクロリムス グリベンクラミド 本剤成分過敏症

【重大な副作用】重篤な肝機能障害 貧血

【備考】経口エンテリン受容体拮抗薬

p291

アンジオテンシン 受容体拮抗薬・利尿薬合剤

ロサルタンカリウム 50mg/ヒト'ロクロチアシ'ト' 12.5mg losartan
potassium/hydrochlorothiazide

プレミネント Preminent

萬有

コード

薬価

錠:

[プレ01]

190

【効】高血圧症

【用】1日1回1錠 経口投与 高血圧治療の第一選択薬として用いない

【禁】本剤成分過敏症 チアジド系薬剤又はその類似化合物に対する過敏症
妊婦又は妊娠している可能性のある婦人 重篤な肝機能障害 無尿 透
析患者 急性腎不全 体液中のナトリウム・カリウムの明らかな減少

【重大な副作用】アナフィラキシー様症状 血管浮腫 急性肝炎 劇症肝炎
腎不全 ショック 失神 意識消失 横紋筋融解症 高カリウム血症 不整
脈 汎血球減少 白血球減少 血小板減少 再生不良性貧血 溶血性貧
血 壊死性血管炎 間質性肺炎 肺水腫 全身性エリテマトーデス 低血
糖

【備考】持続性 ARB・利尿薬合剤

p22

ニューキノロン系

塩酸モキシフロキサシン moxifloxacin hydrochloride(MFLX)

アベロックス Avelox

塩野義

コード

薬価

錠: 400mg

[アベ01]

517

【用】1回 400mgを1日1回

【禁】本剤成分又は他のキノロン系抗菌剤過敏症 重度の肝障害 QT延長 低カリウム血症 クラス A(キニジン、プロカインアミド等)又は (アミオダロン、ソタロール等)の抗不整脈薬 妊娠又はその可能性のある婦人 小児等

【重大な副作用】ショック アナフィラキシー様症状(血管浮腫等) 心室性頻拍(Torsades de Pointesを含む) QT延長 偽膜性大腸炎 腱炎、腱断裂等の腱障害 痙攣 錯乱 幻覚等の精神症状 失神 意識消失 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群) 肝炎(主に胆汁うっ滞性) 黄疸 肝機能障害

【備考】ニューキノロン系合成抗菌剤

p18

グリコペプチド系

バンコマイシン塩酸塩 vancomycin hydrochloride(VCM)

バンコマイシン「MEEK」 Vancomycin hydrochloride 明治製菓

コード 薬価

注:0.5g/V

[ハソコ62]

2290

【効】<適応菌種>バンコマイシンに感性のMRSA <適応症種>敗血症、感染性心内膜炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、骨髓炎、関節炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、腹膜炎、化膿性髄膜炎

【用】1日2gを1回0.5gで6時間毎又は1回1gで12時間毎に分割して60分以上かけて点滴静注(適宜増減) 高齢者には1回0.5gを12時間毎又は1回1gを24時間毎(適宜増減)、小・乳児には1日40mg/kgを2~4回に分割して、新生児には1回10~15mg/kgを生後1週までは12時間毎、生後1カ月までは8時間毎にそれぞれ60分以上かけて点滴静注

【警】本剤の耐性菌の発現を防ぐため「用法・用量に関連する使用上の注意」の項を熟読の上、適正使用に努めること

【禁】本剤成分によるショックの既往

【原禁】本剤成分又はテイコプラニン、ペプチド系抗生物質、アミノグリコシド系抗生物質過敏症 ペプチド系抗生物質、アミノグリコシド系抗生物質、テイコプラニンによる難聴又はその他の難聴

【重大な副作用】ショック アナフィラキシー様症状 急性腎不全 間質性腎炎 汎血球減少 無顆粒球症 血小板減少 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群) 中毒性表皮壊死症(Lyell 症候群) 剥脱性皮膚炎 第8脳神経障害 偽膜性大腸炎 肝機能障害 黄疸

【備考】皮内テストなし

p388 パップ剤

ロキソプロフェンナトリウム水和物 loxoprofen sodium hydrate

ロキソニンパップ Loxonin 第一三共

コード 薬価

貼付剤: 100mg × 7枚/袋 [ロキソ 41] 374.5

【効】次の疾患並びに症状の消炎・鎮痛: 変形性関節症、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛

【用】1日1回貼付

【禁】本剤成分過敏症 アスピリン喘息

【備考】プロドラッグ

p24 抗真菌剤

イトラコナゾール itraconazole (ITZ)

イトリゾール Itrizole ヤンセンファーマ

コード 薬価

注(劇): 1%200mL/A [イトリ 61] 14678

【効】<適応菌種> カンジダ属 アスペルギルス属、クリプトコックス属 ブラストミセス属、ヒストプラズマ属 <適応症> (1)内臓真菌症(深在性真菌症): 真菌血症 呼吸器真菌症 消化器真菌症 尿路真菌症 真菌髄膜炎 (2)食道カンジダ症 (3)ブラストミセス症、ヒストプラズマ症、真菌感染が疑われる発熱性好中球減少症

【用】投与開始から2日間は1日400mgを2回に分けて点滴静注以降、1日1回200mg 1hrかけて点滴静注

【禁】ピモジド キニジン ペプリジル トリアゾラム シンバスタチン アゼルニジピン ニソルジピン エルゴタミン ジヒドロエルゴタミン バルデナフィル エプレレノン 本剤成分過敏症 重篤な肝疾患又はその既往 妊娠又はその可能性のある婦人 クリアチニンクリアランス 30mL/分未満

【重大な副作用】うっ血性心不全 肺水腫 肝障害 皮膚粘膜眼症候群 中毒性表皮壊死症 剥脱性皮膚炎 アナフィラキシー様症状

【備考】高脂溶性、肝代謝型

p31 抗ウイルス剤

バラシクロビル塩酸塩 valaciclovir hydrochloride

バルトレックス Valtrex GSK

コード 薬価

顆粒: 500mg/g [バルト 02] 559.1

【効】(1)帯状疱疹 (2)単純疱疹 (3)性器ヘルペスの再発抑制 (4)水痘

【用】(1)1回1000mgを1日3回 (2)1回500mgを1日2回 (3)1回500mgを

1日1回 なお、HIV 感染症 1回 500mg を1日2回 (4)1回 1000mg を1日3回

【禁】本剤成分あるいはアシクロビル過敏症

【重大な副作用】アナフィラキシーショック アナフィラキシー様症状(呼吸困難、血管浮腫等) 血小板減少 汎血球減少 無顆粒球症 播種性血管内凝固症候群(DIC) 血小板減少性紫斑病 急性腎不全 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群) 呼吸抑制 無呼吸 間質性肺炎 精神神経症状(昏睡 せん妄 妄想 幻覚 錯乱 痙攣 てんかん発作 麻痺) 中毒性表皮壊死症 肝炎 肝機能障害 黄疸 急性膵炎

【備考】アシクロビルのプロドラック...吸収向上

p51 代謝拮抗剤

リン酸フルダラビン fludarabine phosphate

フルダラ Fludara

バイエル

コード 薬価

錠(劇):10mg

[フルタ01]

3688.2

【効】貧血又は血小板減少症を伴う慢性リンパ性白血病

【用】1日量 20mg/m² を5日間連日点滴静注し(約30分)、23日間休薬(1クール) 1日最大 25mg/m² (適宜増減)

【警】緊急時に十分措置できる医療施設及び癌化学療法に十分経験を持つ医師のもとでのみ投与 患者又はその家族に十分説明同意を得て投与 骨髓機能抑制により感染症又は出血傾向等の重篤な副作用が増悪又は発現 遷延性のリンパ球減少により重症の免疫不全が増悪又は発現 致命的な自己免疫性溶血性貧血の報告あり 放射線非照射血の輸血により移植片対宿主病(GVHD)の可能性 ペントスタチン製剤との併用で致命的な肺毒性

【禁】重篤な腎障害(24hr CLcr 30mL/分未満) 妊娠又はその可能性のある婦人 ペントスタチン製剤 本剤による溶血性貧血の既往 本剤過敏症

【重大な副作用】骨髓機能抑制 間質性肺炎 精神神経障害 腫瘍崩壊症候群 重症日和見感染 自己免疫性溶血性貧血 自己免疫性血小板減少症 赤芽球癆 消化管出血 出血性膀胱炎 重篤な皮膚障害 心不全

【備考】経口プリンアナログ製剤

p309 鎮咳・喘息治療剤 吸入用ステロイド剤

フルチカゾンプロピオン酸エステル fluticasone propionate

フルタイド Flutide

GSK

コード 薬価

ディスクス:100µg/1フリスター

[フルタ46] 2373.5/60

【効】気管支喘息

【用】1回 100 µg を1日2回吸入(適宜増減) 1日最大投与量:800 µg <
小児>1回 50 µg を1日2回吸入(適宜増減) 1日最大投与量:200 µg

【禁】有効な抗菌剤の存在しない感染症、深在性真菌症 本剤成分過敏症

【原禁】結核性疾患

【重大な副作用】アナフィラキシー様症状

【備考】ディスク:60回連続使用可能

p168 抗凝血剤

ワルファリンカリウム warfarin potassium

ワーファリン Warfarin

エーザイ

コード

薬価

錠:0.5mg

[ワファ03]

9.7

【効】血栓塞栓症(静脈血栓症,心筋梗塞症,肺塞栓症,脳塞栓症,緩徐に進行する脳血栓症等)の治療及び予防

【用】初回 20~40mg を服用し,一両日休薬して凝固能が治療域に入ったのを確認して1~5mg程度の維持量を毎日1回服用 初めから5~6mgを毎日1回服用し,数日間をかけて治療域に入れ,以後維持量を服用(血液凝固能検査により決定)

【警】本剤とカペシタピンとの併用により,本剤の作用が増強し,出血が発現し死亡に至ったとの報告があるので,併用する場合は血液凝固能検査を定期的に行う

【禁】出血 出血する可能性 重篤な肝障害・腎障害 中枢神経系の手術又は外傷後日の浅い患者 本剤過敏症 妊娠又はその可能性のある婦人

【重大な副作用】出血 皮膚壊死 肝障害 黄疸

【備考】ビタミンK依存性凝固因子の生合成阻害

p141 膵炎治療剤

ガベキサートメシル酸塩 gabexate mesilate

レミナロン Reminaron

塩野義

コード

薬価

注(劇):100mg/V

[レミナ61]

385

注(劇):500mg/V

[レミナ62]

1662

【効】(1)[100mg/Vのみ]蛋白分解酵素(トリプシン,カリクレイン,プラスミン等)逸脱を伴う次の諸疾患:急性膵炎 慢性再発性膵炎の急性増悪期 術後の急性膵炎 (2)汎発性血管内血液凝固症

【用】(1)1回 100 mg を500 mL に溶解し8 mL/分以下で点滴静注 初期投与量は1日100~300 mg 症状により同日中に100~300 mg を追加(適宜増

減) (2)1日 20~39 mg/kg を 24 時間かけて持続静注

【禁】本剤成分過敏症

【重大な副作用】ショック アナフィラキシーショック アナフィラキシー様症状
注射部位の皮膚潰瘍・壊死 無顆粒球症 白血球減少 血小板減少 高K血症

【備考】蛋白分解酵素に対する拮抗的阻害剤

p244 局所麻酔剤

塩酸リドカイン lidocaine

キシロカイン Xylocaine アストラゼネカ

コード 薬価

注(劇):1%10mL/シリンジ [キシロ77] 252

【効】硬膜外麻酔 伝達麻酔 浸潤麻酔 表面麻酔

【用】適宜用量決定 最高1回 200mg(硬膜外麻酔、伝達麻酔、浸潤麻酔)

詳細は添付文書参照 (表面麻酔)適量を塗布又は噴霧

【禁】本剤又はアミド型局所麻酔薬過敏症 [硬膜外のみ]大量出血やショック
状態 注射部位又はその周辺に炎症 敗血症

【重大な副作用】ショック 振戦 痙攣 意識障害 [硬膜外・伝達・浸潤麻酔]
異常感覚 知覚・運動障害 悪性高熱

p257 強心剤 キサンチン類

アミノフィリン aminophylline

ネオフィリン Neophyllin エーザイ

コード 薬価

未: [ネオF02] 13.5

【効】気管支喘息,喘息性(様)気管支炎,肺性心,うっ血性心不全,閉塞性肺疾患(肺気腫,慢性気管支炎など)における呼吸困難 心臓喘息(発作予防)

【用】1日 300~400mg を 3~4 回に分割 経口投与(適宜増減) <小児> 1回 2~4mg/kg を 1日 3~4 回経口投与(適宜増減)

【禁】本剤又は他のキサンチン系薬剤に対し重篤な副作用

【重大な副作用】ショック アナフィラキシーショック けいれん 意識障害 急性脳症 横紋筋融解症 消化管出血 赤芽球癆 肝機能障害 頻呼吸 高血糖症 黄疸

【備考】ホスホジエステラーゼ(PDE)阻害

p103 女性ホルモン剤

エストラジオール estradiol

エストラダーム Estraderm キッセイ

コード 薬価

貼付剤:0.72mg/枚

[エト42]

129

【効】更年期障害及び卵巣欠落症状に伴う次の症状:血管運動神経症状 (Hot flush 及び発汗),泌尿生殖器の萎縮症状 閉経後骨粗鬆症

【用】2日毎に1枚を下腹部又は臀部に貼付

【禁】エストロゲン依存性腫瘍患者 血栓性静脈炎や肺塞栓症患者 本剤成分過敏症 妊娠又はその可能性のある婦人 授乳婦 乳癌既往 動脈性血栓塞栓疾患 重篤な肝障害 診断の確定していない異常性器出血

【重大な副作用】アナフィラキシー様症状 静脈血栓塞栓症 血栓性静脈炎

【備考】卵胞ホルモン

p293

高脂血症治療剤 HMG-CoA 還元酵素阻害剤

アトルバスタチンカルシウム水和物 atorvastatin calcium hydrate

リピートル

Lipitor

アステラス

コード

薬価

錠:5mg

[北ト02]

76.5

【効】(1)高コレステロール血症 (2)家族性高コレステロール血症

【用】(1)1日1回10mg(適宜増減) 1日20mgまで増量可 (2)1日1回10mg(適宜増減) 1日40mgまで増量可

【禁】本剤成分過敏症 肝代謝能が低下していると考えられる以下の患者:急性肝炎、慢性肝炎の急性増悪、肝硬変、肝線維症、肝癌、黄疸 妊娠又はその可能性のある婦人 授乳婦 劇症肝炎 肝炎

【原禁】腎機能に関する臨床検査値異常患者へのフィブラート系薬剤との併用

【重大な副作用】横紋筋融解症 ミオパシー 肝機能障害 黄疸 過敏症 血小板減少症、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群) 中毒性表皮壊死症(Lyell 症候群)、多形紅斑、高血糖 糖尿病

【備考】活性型 強力な血清コレステロール低下作用を有する

p253

末梢性骨格筋弛緩剤

ロクロニウム臭化物 rocuronium bromide

エスラックス

Eslax

オルガノン

コード

薬価

注(毒):25mg/2.5mL/V

[エスラ61]

595

注(毒):50mg/5mL/V

[エスラ62]

1083

【効】麻酔時の筋弛緩 気管挿管時の筋弛緩

【用】〔挿管〕初回0.6mg/kg 静注,術中必要に応じて0.1~0.2mg/kg 追加(適宜増減) 上限:0.9mg/kg まで 〔持続注入〕7µg/kg/分(適宜増減)

【警】作用および使用法について熟知した医師のみ使用

【禁】本剤又は臭化物過敏症 重症筋無力症 筋無力症候群

【重大な副作用】アナフィラキシー アナフィラキシー様反応 遷延性呼吸抑制 横紋筋融解症

p313 去痰剤

アンブロキシール塩酸塩 ambroxol hydrochloride

ムコサル Mucosal	ベーリンガー
	コード 薬価
錠: 15mg	[ムコサ 01] 15.2

【効】以下の疾患の去痰: 急性気管支炎, 気管支喘息, [錠のみ] 慢性気管支炎, 気管支拡張症, 肺結核, 塵肺症, 手術後の喀痰喀出困難 慢性副鼻腔炎の排膿

【用】1回 15 mg を 1日 3回 幼・小児には 1日 0.9 mg/kg を 3回に分服 (適宜増減)

【禁】本剤成分過敏症

【重大な副作用】アナフィラキシー様症状 ショック 皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群)

【備考】気道壁潤滑作用

p266 虚血性心疾患治療剤 その他

ニコランジル nicorandil

シグマート Sigmart	中外
	コード 薬価
注: 48mg/V	[シクマ 63] 6400

【効】(1)不安定狭心症 (2)急性心不全(慢性心不全の急性増悪期も含む)

【用】(1) 2mg/hr の点滴静注から開始 (適宜増減) 最高用量 6mg/hr (2) 0.2mg/kg 静注(5分程度)、引き続き 0.2mg/kg/hr で持続静注 0.05 ~ 0.2mg/kg/hr の範囲で適宜増減

【禁】ホスホジエステラーゼ 5 阻害作用を有する勃起不全治療剤 (シルデナフィルクエン酸塩, バルデナフィル, タダラフィル) 重篤な肝・腎機能障害 重篤な脳機能障害 重篤な低血圧又は心原性ショック Eisenmenger 症候群 原発性肺高血圧症 右室梗塞 脱水症状 神経循環無力症 閉塞隅角緑内障 本剤又は硝酸・亜硝酸エステル系薬剤過敏症

【重大な副作用】肝機能障害 黄疸 血小板減少

【備考】硝酸エステル型のニコチン酸アミド誘導体 カリウムチャネルオープナー

p433

MRI用造影剤

ガドテル酸メグルミン meglumine gadoterate

マグネスコープシリンジ Magnescope syringe テルモ

コード 薬価

注: 10mL/シリンジ [マケネ 69] 6981

注: 15mL/シリンジ [マケネ 68] 10794

【効】磁気共鳴コンピューター断層撮影における脳・脊髄造影、躯幹部・四肢造影

【用】0.2mL/kg 静注 腎臓を対象とする場合は0.1mL/kg(0.2mL/kgまで増量可)

【警】髄空内には投与しない

【禁】本剤成分又はガドリニウム系造影剤過敏症

【原禁】一般状態の極度に悪い患者 気管支喘息 重篤な肝障害 重篤な腎障害

【重大な副作用】ショック アナフィラキシー様症状

【備考】Gd イオンのキレート安定性が高い

p426

X線造影剤(ヨード製剤)

イオキシラン ioxilan

イマジニール Imagenil テルモ

コード 薬価

注 300: 100mL/V [イマシ 61] 10843

注 350: 100mL/V [イマシ 61] 11399

【効】共通: 大動脈撮影, 選択的血管撮影, 四肢血管撮影, デジタルX線撮影法による動・静脈性血管撮影, コンピュータ断層撮影における造影, 静脈性尿路撮影 300: 脳血管撮影 350: 血管心臓撮影

【警】ショック等あり 脳槽・脊髄造影には使用しない

【禁】ヨード又はヨード造影剤過敏症 重篤な甲状腺疾患

【原禁】一般状態が極度に悪い 気管支喘息 重篤な心障害 重篤な肝障害 重篤な腎障害 急性膵炎 マクログロブリン血症 多発性骨髄腫 テタニー 褐色細胞腫

【重大な副作用】ショック アナフィラキシー様症状 肝不全 腎不全 失神 錯乱 痙攣発作

【備考】水溶性、非イオン性、モノマー型